

「昼行性動物」と「夜行性動物」

(子供プロ)

人は、朝起きて「おはようございます」、昼は「こんにちは」、夜は、「こんばんは」と挨拶を使い分けます。時計のなかった昔に、時刻を共有するための「生活に知恵」が始まりだと言われていました。実は もう一つ、江戸時代まで、夕方（日没）から夕闇までの時間帯の挨拶として「おしまいなさいませ（意味：片付けをしましょう）」という挨拶が使われていました。しかし、明治に電灯が普及し始めるとと使われなくなりました。自分自身で、昼と夜の切替ができるようになったからです。動物は、暗くなると自然に眠りますが、人は、自分自身で電灯を消して、生活リズムをコントロールすることが必要になりました。

問題 1 : 昼行性動物と夜行性動物に分けてください。

- ①人間 ②牛 ③馬 ④鳥 ⑤犬 ⑥狸 ⑦ライオン⑧猫 ⑨蛾
⑩オオカミ ⑪蝶々 ⑫コウモリ、

昼行性動物	どちらでもない	夜行性動物

問題 2 : 夜行性動物が、夜に活動をする理由？



バットモン

- ①獲物を捕らえるため ②天敵に襲われないように ③体温の上昇を防ぐため

問題 3 : 本来は夜行性動物であるが、昼に活動をする理由

- ①人間と共生するため

問題 4 : 本来は昼行性動物だけど、夜に活動をする理由？

- ①人間の活動時間帯と棲み分けるため

問題 5 : あなたは、昼行性動物？それとも夜行性動物？